

ぶうげんびりあ1月 No.1

2019年 1月号 No.235 <http://www2.synapse.ne.jp/ainohamaen>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL: 54-8011 FAX: 54-8012

新年に思う 平成31年、明けましておめでとうございます。平成最後の年明けとなりました。昨年は、3年に一度の制度改革の年となり、報酬の見直しが行われるなど、変化を求められる一年であったと思います。愛の浜園もグループホームの定員増等を行い、時代のニーズに応じた対応を取り組んできました。今年も「地域共生社会の実現」に向けて、しっかりと地に足を着け、(利用者の幸せ)という目的地向かって、(法制度)という道はずれることなく、(利用者が必要とするサービスの種類)でその道幅を広げ、(日々のサービス)という足並みで、着実に進んでまいります。猪突猛進の年ではありますが、社会の動きに敏感に対応できるよう、ちょっとわき目を振り返る余裕を持ちながら、歩を進めたいと思います。今年一年、どうぞ宜しくお願いいたします。(園長: 榮野 和光)

1月行事予定表

1~3日: 年始休暇
4日(金): 御用始め
体重測定 血圧測定
10日(木): 自衛隊音楽隊鑑賞
23日(水): 健康相談

1月お誕生日

おめでとうございます



岩切 正さん

就労継続支援B型

12月25日(火)に、日頃手芸に取り組んでいる女性利用者の協力を得て、ネギの収穫やキャベツの植え付け・除草作業を行いました。気温も上昇し程よい天気の中、7名の女性利用者が汗を流し取り組みフル(葉ニンニク)の畑もすっかりきれいになりました。普段、事業所内での作業が多い女性利用者ですので屋外での農作業を楽しんで取り組んでいたようでした。(記事: 且)



夢来夢来フェスタでジャンベ演奏

12月2日(日) 私たち愛の浜園ジャンベ隊は、名瀬小浜(なぜこはま)町にある夢来夢来(むくむく)〜パン工房&カフェ&島料理のお店〜の感謝祭「夢来夢来フェスタ」で演奏をしてきました。大島地区ゆうあいスポーツ大会で私たちの演奏を見られた社会福祉法人 三環舎(さんかんしゃ)の向井 扶美(むかい ふみ)理事長が、発表の機会を与えて下さったのです。当日は、向井理事長のご厚意で奄美のウコンで作ったカレーライスまで御馳走になり、お腹も満たされた私たちは、出番も待ち遠しく自然とみんなでリズムを取っていました。いざ本番、緊張の「き」の字もないほど、いつにも増した満面の笑顔で「あいのはまえ〜ん」で登場。みんなで声高らかに歌い、身体いっぱいリズムを取り太鼓を叩きました。すると、初めは何が始まるのだろうと様子を見ていたお客さんも、一緒になって手を叩いたり踊ったりしてくれたのです。私はその時、「私たちの『楽しい』が伝わっている。」と感じました。いつも思いますが、ジャンベ隊の皆さんは本当に楽しんで演奏をしています。そんな皆さんの『楽しい』を発表できる機会を与えて下さった皆様に感謝を申し上げながら、これからも、ジャンベ隊の皆さんと『楽しい』を積み重ねていきたいと思っています。(記事: 荒田)



園内餅つき

12月13日(木)に、今年最後の行事、「餅つき」が行われました。数名の利用者さんに、風邪症状がみられ心配もありましたが、声掛けや見守り、そして職員間で連携を図りながら無事終了する事が出来ました。栄養士をはじめ、給食職員の準備によって、利用者さんの集合時間や開始時間を設定しスムーズに進行でき、他職員の協力によって、つきたての大きな餅から利用者さんが食べる小さな丸い餅へと、次々に仕上がっていきました。毎年、杵を持ち餅つきに参加したり、出来上がった餅を丸める作業に参加される利用者さんが、鼻水や咳が出る為参加できなかったりしましたが、全員で餅を食べる際は、笑顔が見られ雰囲気を楽しんでいる様子がありました。普段は、ホールの椅子に座り愛用の猫のぬいぐるみを撫でながら過ごしている女性利用者 Yさんが、杵を持ち上げ、5回・6回と振り下ろし餅をつき、つき終えた後に両手を「パンパン」とはらい満足そうな表情をされました。若い頃に、いろいろな事を頑張ってきたのだらうなと、驚きと感動がありました。このような行事は、大切に残していかなければいけないなと感じると同時に、利用者さんのたくさんの笑顔や頑張る姿に出会えた事に感謝します。(記事: 川畑)



利用者さんの食を支える

愛の浜園の給食では利用者さんに美味しい食事を提供するため、給食職員一同、日々頑張っています。味噌汁や吸物、麺類などの出汁(だし)は先輩方の教えを受け継ぎ、いりこやかとお節などで天然の出汁を取り、使用しています。今やどこでも粉末や顆粒だしなどを使えば、簡単に美味しいスープが手軽に作れますが、世界にも認められた天然出汁のうまみ成分は何ものにも代え難いものであり、なによりも一口飲むことで家庭の味、母の味を利用者に少しでも感じていただければと思いながら毎日出汁を取っています。天然出汁を飲むとカルシウム等の栄養も摂れ、ホツとします。「鼻から抜けるあの香ばしい香りは落ち着き、安心する」と思うのは私だけでしょうか。給食職員一同、これからも利用者さんに美味しい食事を提供するため、丁寧でひと手間を惜しまない調理を目指して頑張っていきたいと思っています。(記事: 恵 てるみ)



自分で選ぶ楽しみ

愛の浜園では月に1回ほど外出支援を行っています。外出の数日前から「〇〇が買いたい。〇〇も買いたい。〇〇が食べたい。」等、笑顔で話す利用者さんも多く、外出の日を楽しみにしています。そして当日。事前に決めていた、洋服や日用品などを購入し、何よりも食事などを楽しんで来ました。普段はなかなか出来ない事です。お店に入り、メニューを見て、自分で食べたいものを決める。この時の表情は、皆、何とも言えない嬉しそうな顔をしています。この表情を見ると、私たち支援員は嬉しく思い、幸せな気持ちになります。こんな素敵な表情を、普段からたくさん見られるように、今後も、利用者さんが楽しみにしている外出支援はもちろん、様々な事を計画し、今年も笑顔あふれる愛の浜園にしていきたいと思いました。(記事: 河村)



友愛のタオル

奄美市老人クラブ連合会 名瀬支部女性部委員会よりタオルを多数頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



みんなで祝う誕生日

12月12日(水)愛の浜園の食堂で合同誕生会が行われました。12月に誕生日を迎える利用者さんは前列に並んで、お友達から歌やプレゼントの贈呈を受けました。プレゼントを渡したい人が手を上げてそれぞれの誕生日の方に渡していきます。やはり、贈り物をもらうときはどんな人でも笑顔になります。渡す人もまた笑顔になるので、食堂はとても幸せな笑顔で溢れています。誕生を迎える利用者さんのケーキには給食の方が工夫を凝らした、デコレーションが施してあります。この日だけの特別なケーキを前にとても嬉しそうです。毎月行われる誕生会ですが、利用者さんにとっては1年に1回の大切な日です。また、職員も誕生日を迎えるたびに今年も今日の日を迎えられて良かったと嬉しく思う日でもあります。愛の浜園はこの先もずっと笑顔の誕生日を続けていきます。(記事: 牧口)



訃報のお知らせ

柳 輝美(やなぎ てるみ)さんが、12月27日(木)永眠されました。謹んで御悔やみ申し上げます。



明けましておめでとうございます



クリスマス忘年会

12月7日(金)愛に浜園クリスマス忘年会を行いました。今年は久しぶりに夜のホテルでの開催となり、ご家族や職員を含めて大勢の参加となりました。利用者さん手作りのクリスマス壁面飾りで会場はクリスマスモードに包まれていました。園長の挨拶に始まり、トニーさんのマジックショーやカラオケ大会と盛り上がりしました。恒例となっている新人職員がサンタやトナカイに扮し、プレゼントを配り始めると、利用者さんは満面の笑顔で早く自分の所に回ってこないか待っている様子でした。抽選会では大勢に当たるよう景品も数多く準備されており、名前を呼ばれるたびに会場が歓声に包まれました。会の終盤には愛の浜園の名物となりつつあるジャンベ隊の演奏や六調で皆さん楽しそうに踊られていました。来年も利用者さんの笑顔が見られるクリスマス会を計画していきたいと思います。

(記事: 隈元)



フレンド クリスマス飾り制作

Hさんが毎晩、夕食後にティッシュを丸め、次の日の朝には、ゴミ箱いっぱい、という事を何年もやっていたのですが、7月頃からお花紙に替えてもらい、今回、感謝祭・クリスマス忘年会と作品を展示することができました。色とりどりの紙を同じ大きさに丸めたものを、フレンド女性利用者で白表紙に鉛筆書きしてある文字と絵の中に貼り付け、きれいな作品に仕上げました。1つ1つ丁寧に糊をつける人、あちこちに貼る人、粘り強く最後までやる人、それぞれの個性がでて、その人のもつ特性に気づかされた作品づくりでした。クリスマス会では、制作に取り組んだ皆さんで飾られた作品の前で記念撮影をしました。今晚も、またお花紙を丸めているHさんがいます。(記事: 太倉・牧岡)

